

池田高2年生らが 白樺の樹皮採取に挑戦

池田高校（佐藤秀樹校長、生徒63人）で「ライフデザイン」の授業を選択する2年生2人が7月14日、中札内高等養護学校幕別分校の2年生14人と共に、清見ヶ丘公園で白樺の樹皮を採取しました。地域資源を活用したもののづくりの工程を学び、地域産業の活性化や課題解決の視点を養うことが目的。工房ameiro（帯広）の高橋寿子さんと町内のminotakeの川瀬千尋さん、頓所幹成さん

を講師に招き、ストラップなどの製品作りを目指した両校の合同授業として行われました。この日、電線に触れて支障木となっていた白樺の木を活用し、高橋さんが樹皮のむき方を実演。川瀬さんと頓所さんが木を伐採し、扱いやすい大きさに切り分け、生徒たちは樹皮むきに挑戦しました。池田高校の高岡希愛さんは「樹皮を剥がすのは貴重な機会になりました」と話していました。



池田町地域おこし協力隊 活動報告

高校魅力化推進員 菊田 英輝

【活動：池田高校の地域みらい留学に関する業務など】



皆さん、こんにちは。高校魅力化推進員の菊田です。私は現在、十勝管外から池田高校へ進学する「地域みらい留学生」の募集活動や、地域みらい留学で池田町にきた生徒たちの日々の生活サポートを主な業務として行っています。

地域みらい留学に関するイベントに参加

6月からは、全国の中学生に池田高校の魅力を届けるため、札幌や東京で開催された「地域みらい留学日本まるごと高校フェス」に参加してきました。



会場では多くの中学生や保護者の皆さんと直接お話しし、池田町の豊かな自然や温かい人の魅力、そして一人一人に寄り添う教育環境について全力でPRしてきました。



地域みらい留学の推進に向けて

地域みらい留学で池田町にきた生徒たちが安心して充実した高校生活を送れるよう、日々の生活支援や見守りを行っています。また、必要に応じて高校や役場、医療・福祉などの関係機関と密に連携し、包括的なサポート体制の構築にも注力しています。

池田高校を選んでくれた生徒たちの「生のストーリー」は、これからの町の未来を開く大きな原動力です。

今後も地域、高校、役場が一体となった「チーム池田」で生徒たちを温かく支え、魅力ある地域みらい留学を推進していきます。応援よろしくお願いします！



池田高校の学びを紹介!!

— 外部講師授業・教科コラボ・探究活動の広がり —

本年度も池田町広報紙の紙面をお借りし、池田高校の取り組みを町民の皆さんにお届けする連載を行います。広報いけだ8月号から全3回の予定で、池田高校の「いま」の学びや課外活動の様子を、写真とともにご紹介します。

集中連載第1回目は「学び」がテーマです。総合学科ならではの学びとして、地域の専門家から直接学ぶ授業や、複数の教科を組み合わせる学ぶ教科横断的な学習、そして、社会で求められる協調性や主体性などの「非認知能力」を育てる探究活動について紹介します。

文責：池田高校

池田高校
ホームページ



授業 1

外部講師授業

2年次必修科目 家庭総合「私のライフデザインについて考える」

池田高校では、実生活につながる学びを重視し、外部講師による授業を積極的に取り入れています。

6月に行われた2年次の「家庭総合」では、日本生命保険相互会社と北洋銀行帯広コンサルティングプラザの職員の方を講師にお招きし、「私のライフデザインについて考える」と題して、ライフデザインと金融リテラシー（金融

や経済に関する知識）をテーマに講話を実施しました。

将来の生き方や人生の節目に必要な費用、計画的なお金の使い方について、具体例とともに学ぶことができ、生徒からは、将来の選択肢を広く持つことや金融知識の重要性に気付く声が多く聞かれました。進路を考える上で大きな学びとなりました。



授業 2

教科コラボ

3年次選択科目 応用英語×スポーツⅡ

池田高校では本年度、教科横断による学びの充実を図っています。

3年次の選択科目「応用英語」では、同じく3年次の選択科目「スポーツⅡ」の授業で行われたテニポン(テニスと卓球を組み合わせたスポーツ)について、生徒自ら取材を行い、英語で



▲完成した「The ELM News No.1」

記事を書いた新聞「The ELM News」を制作しました。

取材内容を英語で表現する過程では、英語力の向上に加え、情報を整理する力や文章を構成する力も高まり、学びがより実践的に深まっています。

今後は「工芸基礎×フードデザイン」など、他教科との連携による授業も予定しており、生徒の多様な学びの機会をさらに広げていきます。



授業 3

探究活動の広がり

3年次必修科目 課題研究「進捗状況報告会」

6月に3年次生による課題研究の進捗状況報告会を、昨年度に続き本年度も実施しました。4月中旬のテーマ発表会を経て、今回は研究の進捗状況を報告する場となり、地域の皆さんが見守る中、生徒は2カ月間の成果を堂々と発表しました。

発表では、「池田町の行き来を増やすためには」「池田町の特産品をもっと広めようプロジェクト！」など、地域課題から身近なテーマまで、幅広い研究内容を紹介しました。発表後には、来場



された地域の方々との交流会も実施し、感想記入シートを基に助言を頂くことで、研究内容をさらに深める貴重な機会となりました。

こうした多様なテーマ設定と地域との対話は池田高校ならではの取り組みであり、12月の課題研究発表会に向けて、生徒は今後も探究を深めていきます。



今年の3年次生の探究テーマはこちら!!

- 池田町の行き来を増やすためには
- 池田町の良さを日本に
- エルム祭の今昔
- 自然に興味を持つ人を増やすにはどうしたらいいのか
- 酪農家の負担を減らすには
- 池田町の特産品をもっと広めようプロジェクト!
- 学校で居場所づくり
- 自分の好きを多くの人に知ってもらうためには
- 高校生の考える身だしなみと企業が求める身だしなみの違い